



個人投資家向け会社説明会

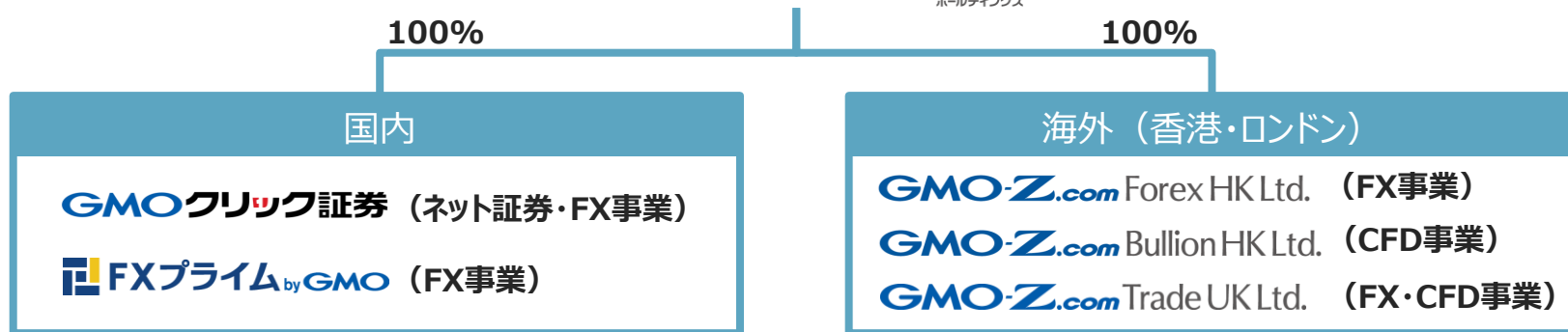
STOCK CODE:7177

2017年3月23日

会社概要

商号	: GMOクリックホールディングス株式会社
設立	: 2012年1月
代表者	: 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
連結子会社数	: 6社（国内2社・海外4社）
連結従業員数	: 249名（2016年12月末日現在）
グループ事業概要	: ネット証券事業、FX事業
証券コード	: 7177（東証JASDAQスタンダード）

GMOクリックHD (金融持株会社)
ホールディングス



※2016年11月にタイ王国に子会社を設立。証券事業開始に向けて準備中

安さと使いやすいサービスを武器に成長。海外でも事業を展開



2005年10月

GMOインターネット証券
(現GMOクリック証券)設立

2005

2006

2006年5月
オンライン証券取引サービス開始

2006年10月
店頭FX取引サービス開始



香港
進出

2012年8月

香港子会社でFXサービス
提供開始

2010

2010年4月
CFD取引サービス開始

2012年1月
GMOクリックHD設立

FXプライム by GMO



2012年9月

FXプライム (現FXプライム
byGMO) を連結子会社化

2012



ロンドン
進出

2015年3月

英国子会社でFX・CFDサービス
提供開始

2015

2015年4月
GMOクリックHD上場
(東証JASDAQ)

2016

2016年2月
新FXシステム稼働開始

金融サービスをもっとリーズナブルに
もっと楽しく自由に



個人投資家を中心とする国内外のお客様に インターネット金融サービスを提供

取引所取引

店頭取引

概要

取引所を介して行われる取引

投資家と証券会社等との相対取引

主な商品

株

先物
OP

365
FX

店頭
FX

外為
OP

CFD

収益源

手数料・金利*

スプレッド等

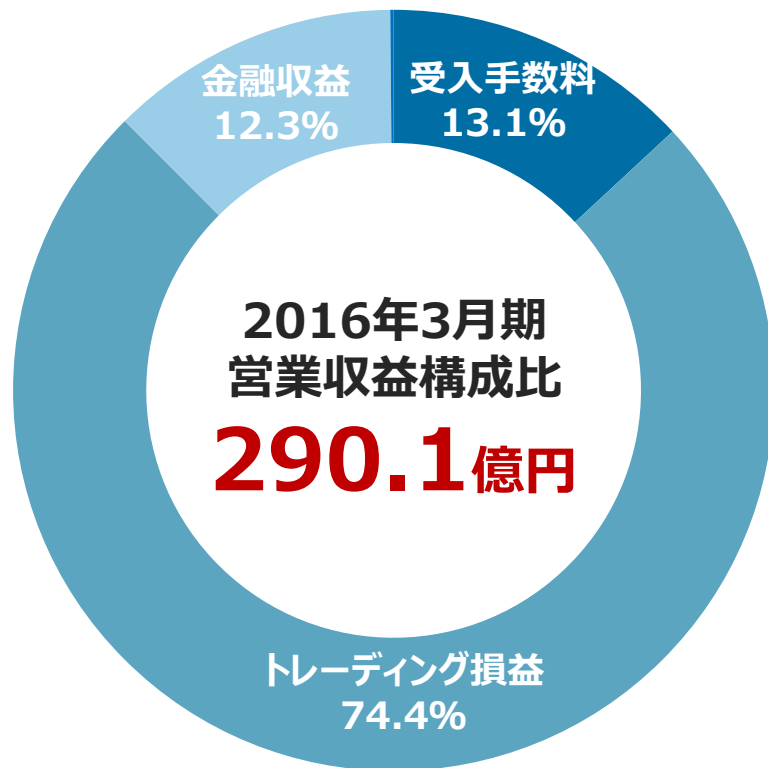
PL科目

受入手数料・
金融収益

トレーディング損益

※株式信用取引に係る金利

FXなどの店頭デリバティブ取引が収益を牽引



受入手数料**37.9億円**

- 株式取引、先物オプション取引、取引所FX取引等から得られる収益

トレーディング損益**215.9億円**

- 店頭FX取引、CFD取引、外為オプション取引等から得られる収益

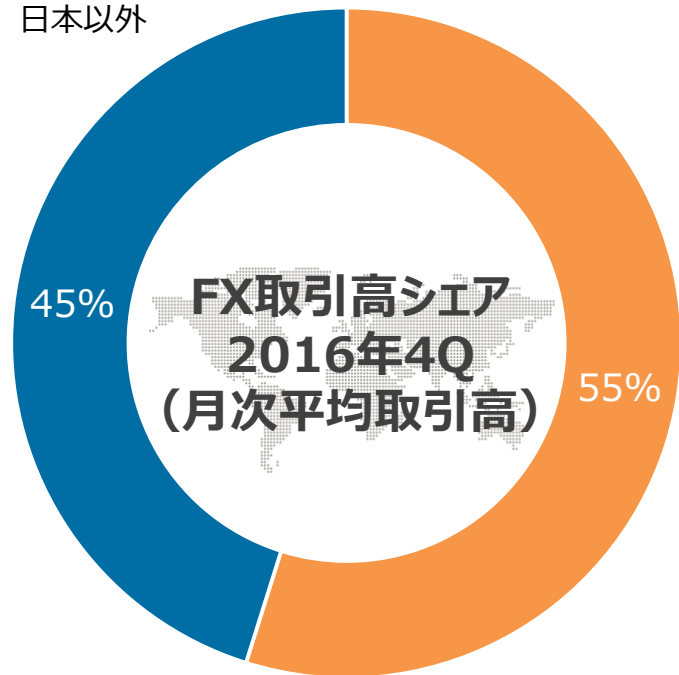
金融収益**35.8億円**

- 信用取引等から得られる収益

日本の個人投資家によるFX取引は世界の約半数を占める

日本は世界で一番大きなマーケット

- 日本
- 日本以外



日本におけるFX発展の背景

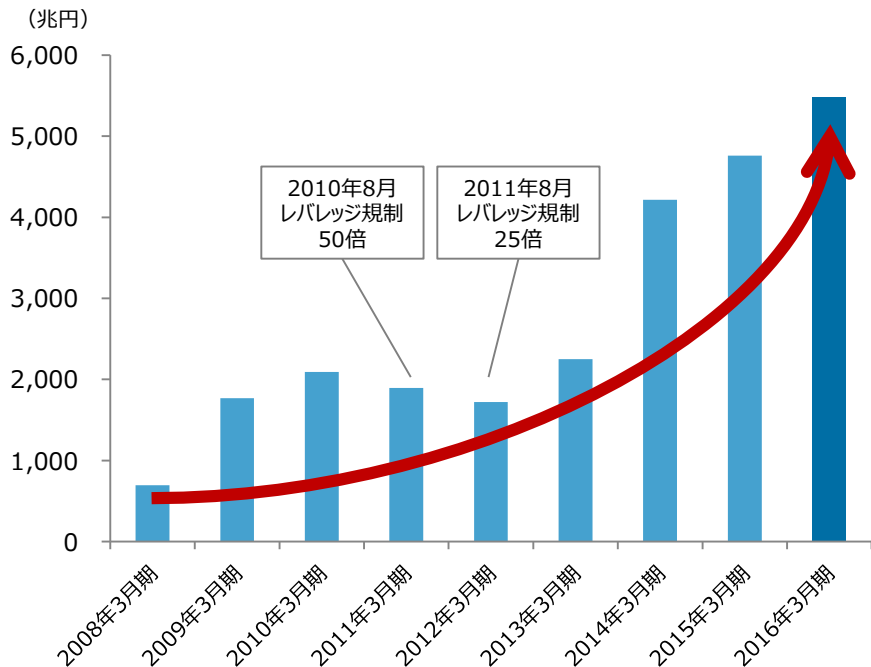
株式投資と比較し、投資対象の選定が容易

少ない資金でレバレッジを効かせた取引が可能

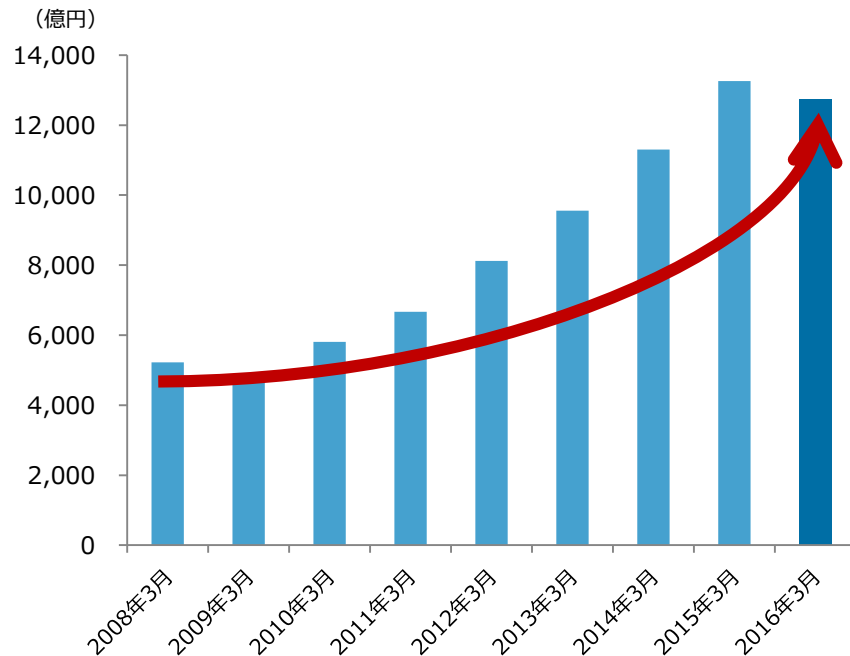
24時間取引可能で、投資機会が多い

国内店頭FX市場は大きく成長

店頭FX取引高



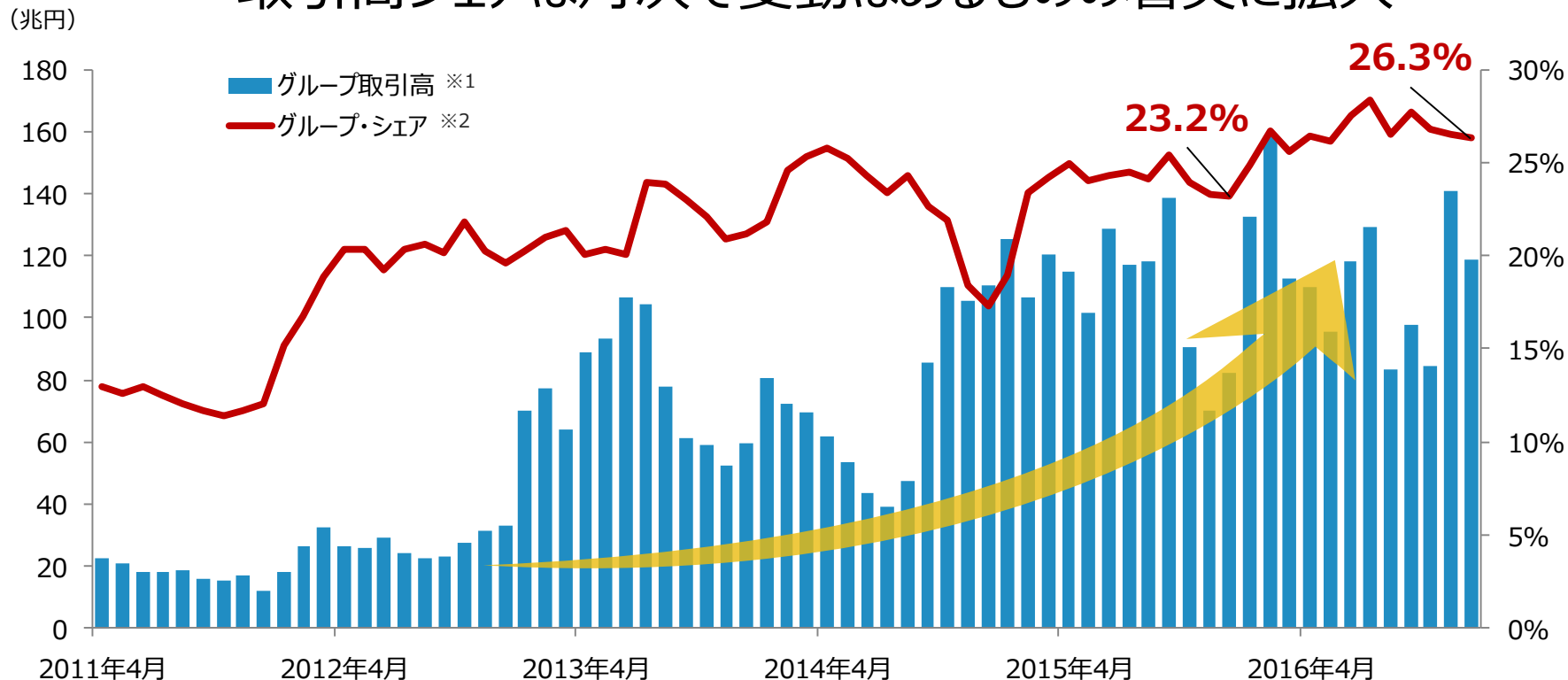
店頭FX預り証拠金残高



出所：金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

国内店頭FXにおける当社グループ取引高・シェアの推移

取引高シェアは月次で変動はあるものの着実に拡大



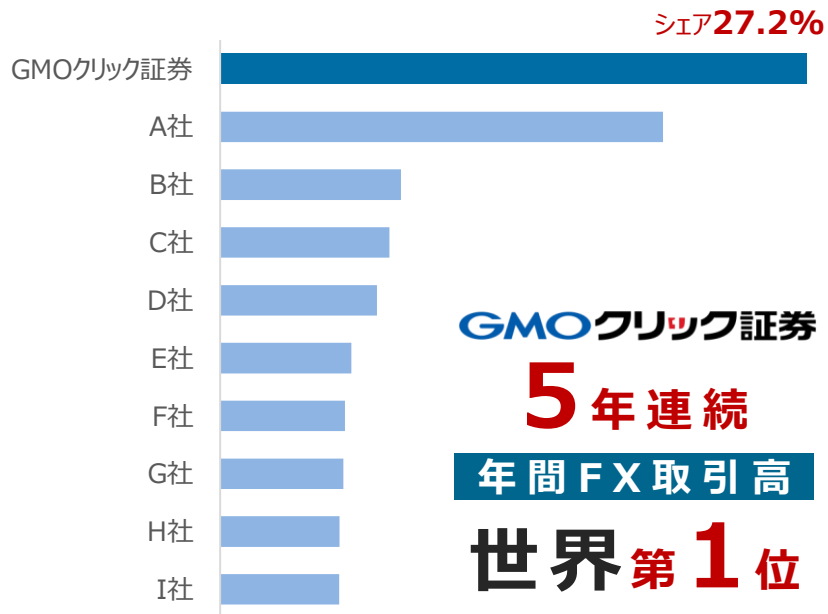
出所：当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値

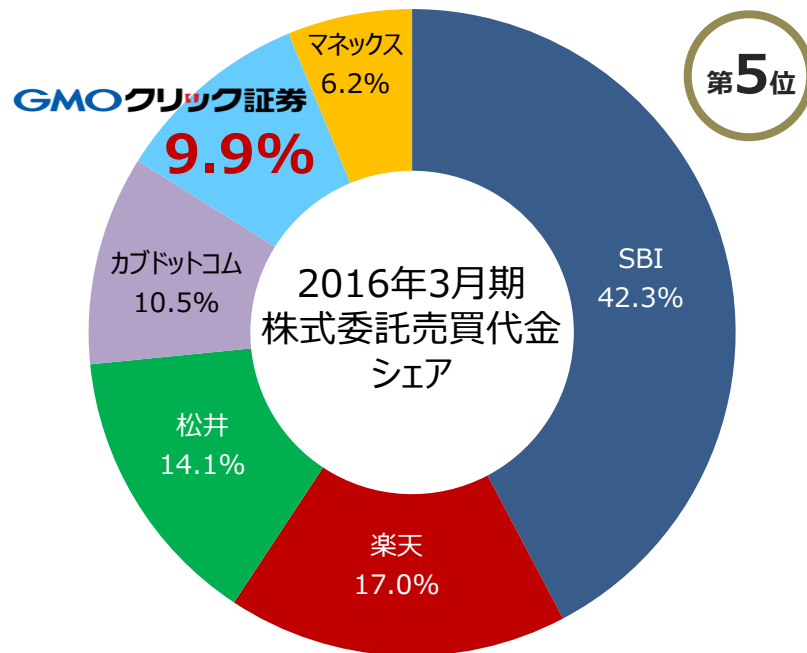
※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

FX会社比較

2016年世界上位10社のFX取引高



主要ネット証券比較



※Finance Magnates「2016年年間取引高調査報告書」において、2016年1～12月のFX取引高（売買代金/ドル換算）1位を獲得。シェアは、報告書に基づく世界上位10社を全体として算出

出所：各社公表資料。シェアは、6社を全体とした場合の各社シェア

高い技術力を強みにシステムの開発・保守・運用を内製化

- システム内製化により、システム開発コストを低減。価格競争を起こし顧客基盤・マーケットを拡大
- 顧客ニーズ・マーケットの変化にスピーディに対応

安さ

業界最安値水準の
手数料・スプレッド

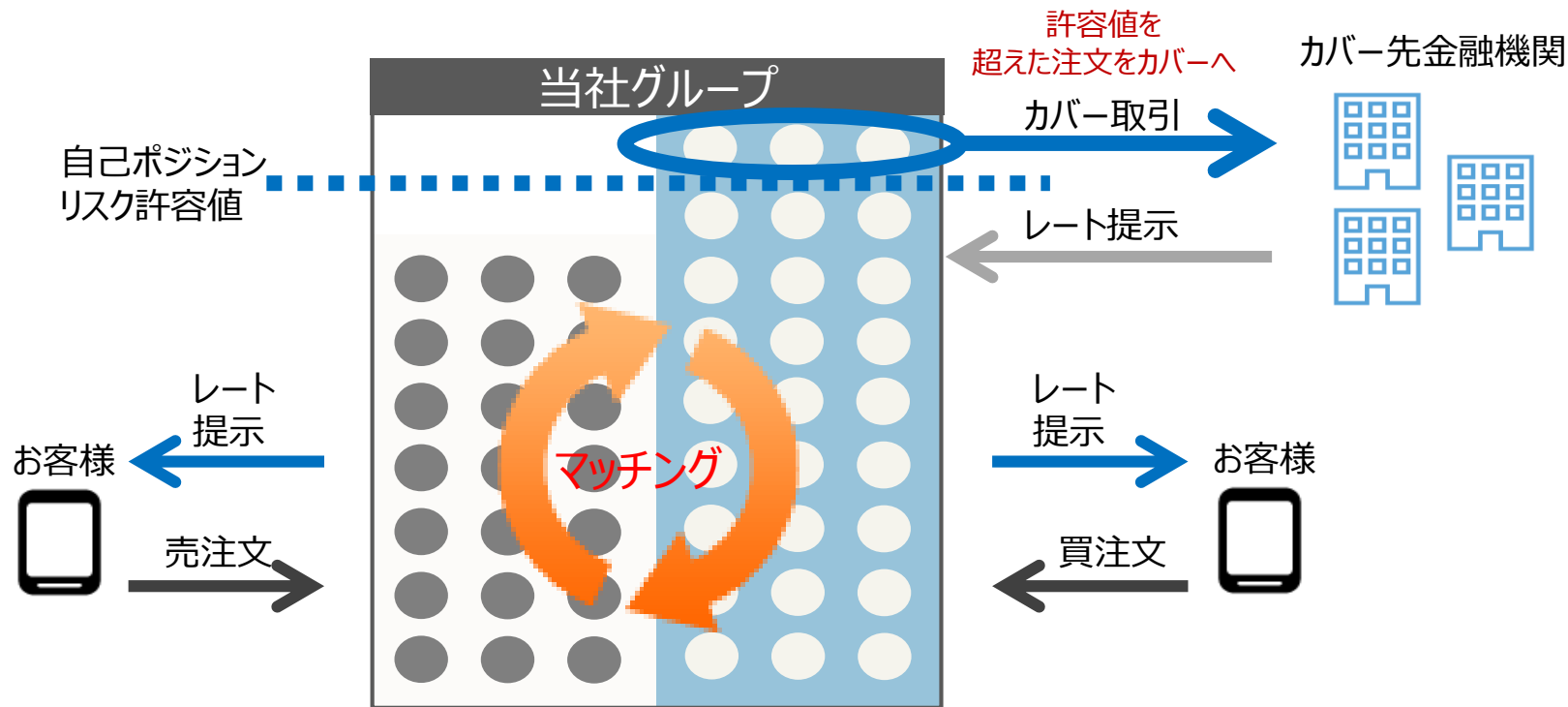


使いやすさ

簡単操作・高機能
取引ツール



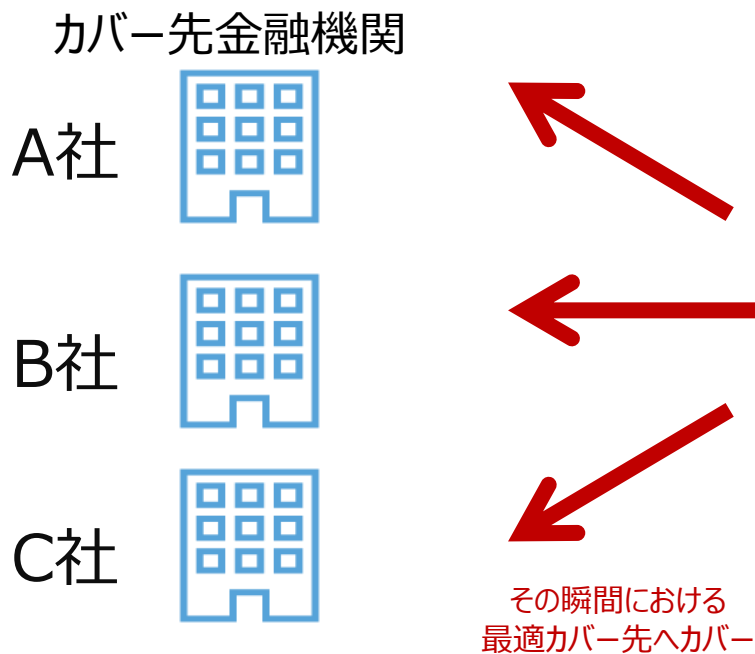
効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

FX取引高世界No.1を支えるビジネスモデル

当社グループはFXディーリング業務をシステムにより完全自動化
上手にシステム設定をして、カバー取引を最適化



(上記は概念図)

ボラティリティと収益の関係

収益
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバー取引}$$
$$\left(\text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量} \right) - \left(\text{カバースプレッド} \times \text{カバー数量} \right)$$

取引量

カバーコスト

ボラの上昇

増加

増加

ボラの低下

減少

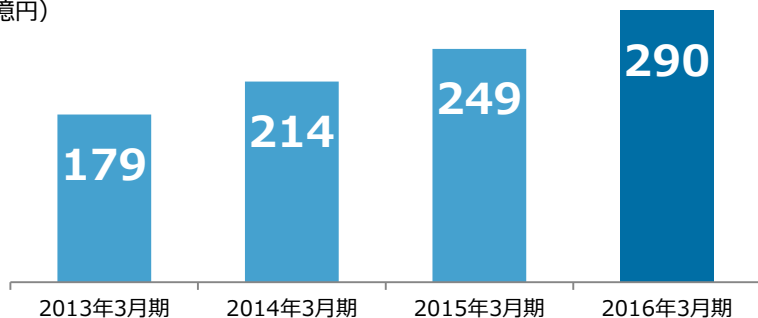
減少

(上記は概念図)

収益・利益ともに順調に成長。2016年3月期は過去最高業績

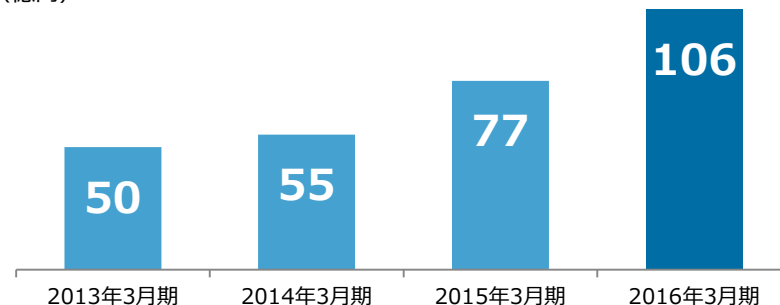
営業収益

(億円)



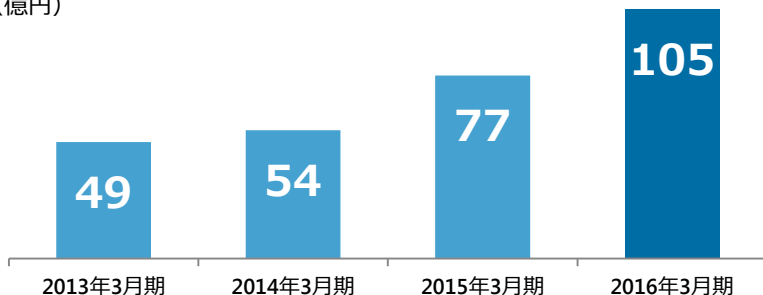
営業利益

(億円)



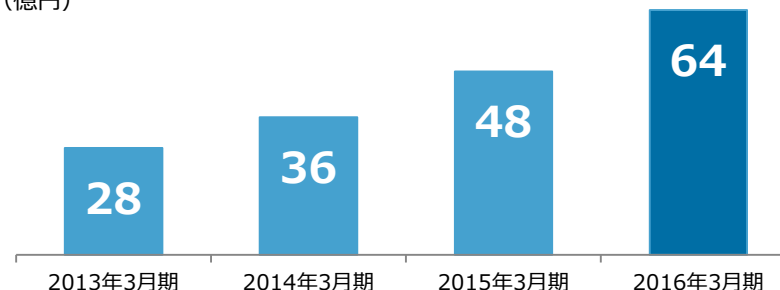
経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



最新決算サマリー | 2017年3月期3Q（4-12月）

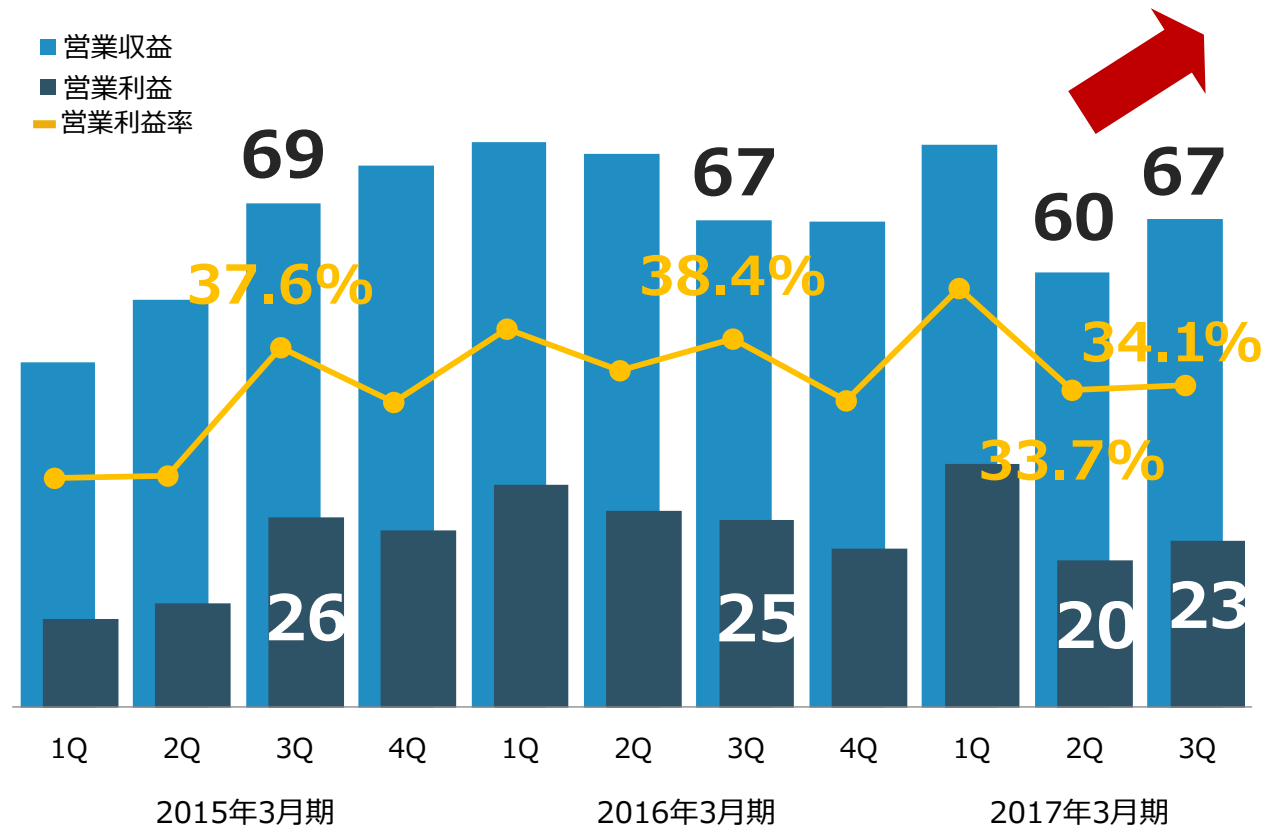
店頭FX収益等の減少により減収も、最終利益は増益の着地

(億円)	2016年3月期 3Q（4-12月）	2017年3月期 3Q（4-12月）	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	222.8	206.1	▲ 16.6	▲ 7.5%
純営業収益	210.9	196.1	▲ 14.7	▲ 7.0%
営業利益	84.1	77.1	▲ 6.9	▲ 8.3%
経常利益	84.0	76.2	▲ 7.8	▲ 9.3%
最終利益	49.9	52.8	+ 2.9	+ 5.9%

四半期業績の推移

(億円)

- 営業収益
- 営業利益
- 営業利益率



短期的な変動は
あるものの、
収益利益規模は
成長

方針

強いものをより強くする

収益の柱であるFXをさらに強くし、事業基盤を強化
既存事業（国内・海外）、新規事業へ投資し成長を図る

国内 事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

海外 事業

- 黒字定着し攻めの体制

新規 事業

- 新たな金融商品・事業の展開

FX

- ビッグデータ解析基盤構築し、より高度な分析で収益率向上
- 取引ツールのユーザビリティ向上を図り、顧客取引活性化



CFD

- 取扱銘柄追加や新取引ツールの投入、既存の取引ツールのユーザビリティ向上等により、収益拡大を図る



GMOクリック証券が金融業界で初めて 仮想現実(VR)空間でのFX取引を実現するアプリを提供

VR技術を使い、仮想空間上にディーリングルームを展開
視線を合わせることで、為替チャートの拡大/縮小、
通貨ペアの選択や売買の注文が可能



人工知能(AI)活用も視野に今後もVR×金融でのサービス展開の可能性を探求

※Android版は2017年1月31日、iOS版は2017年2月1日にリリース

新商品・サービスを拡充し、使いやすさを強化
顧客基盤拡大を図る

貸株サービス

2016年10月下旬
スタート

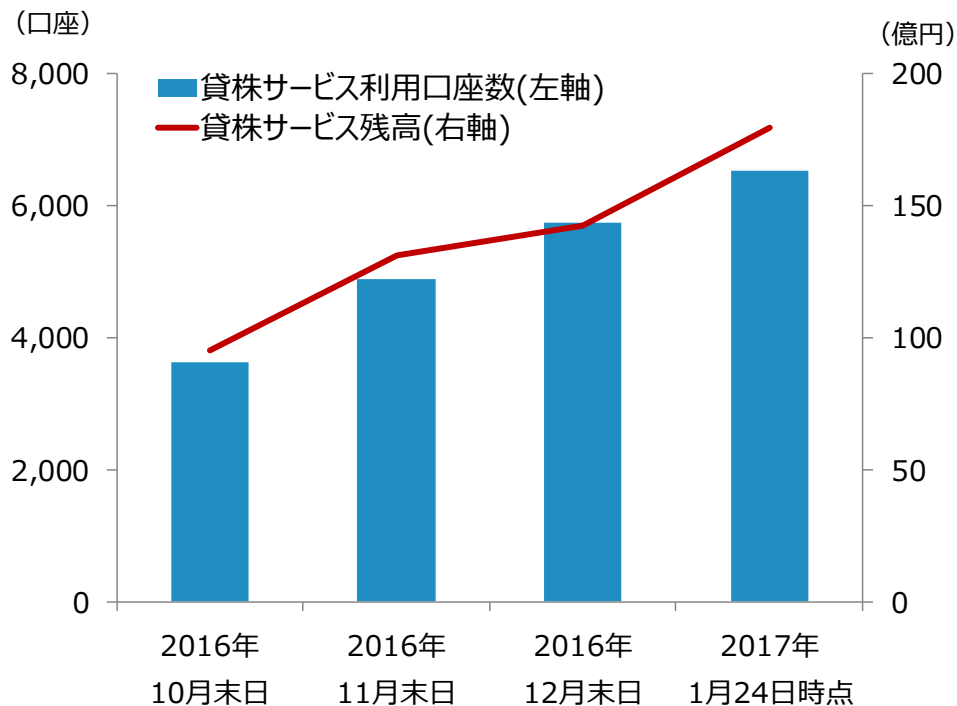
貸付型
クラウドファンディング
maneo

2016年10月下旬
スタート

投資信託

2017年3月下旬
スタート予定

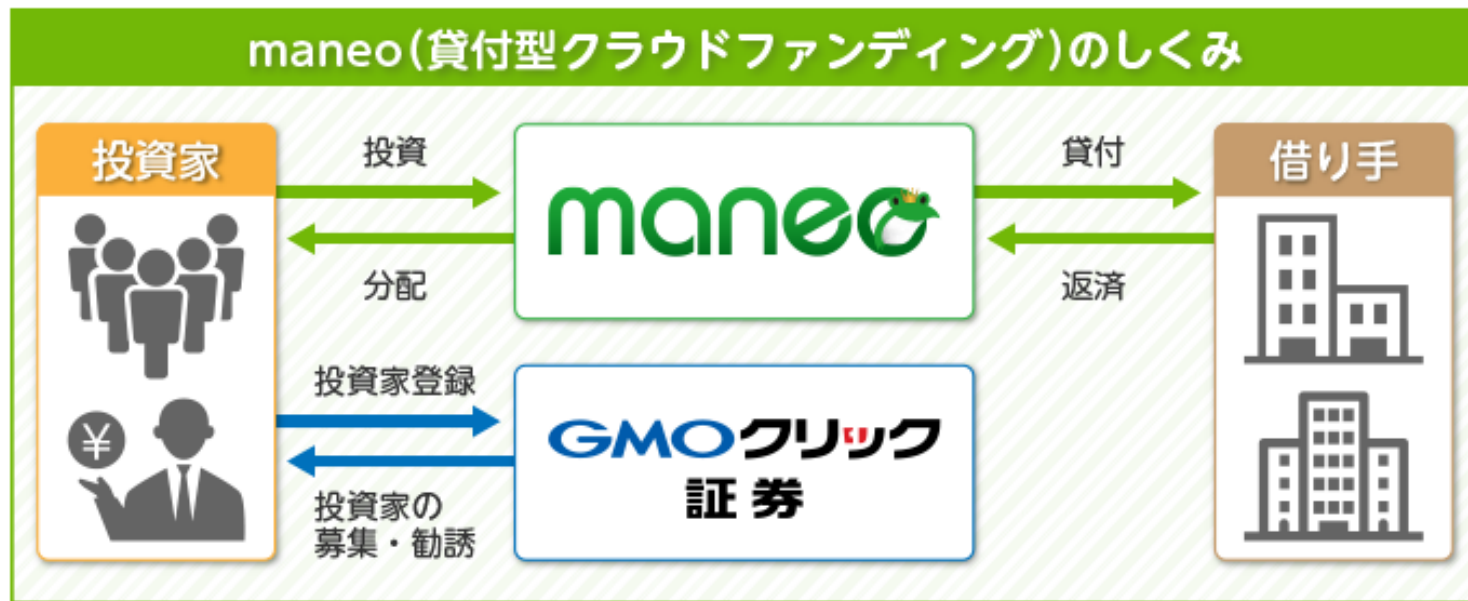
利用口座数、貸株サービス残高は順調に伸長



- 利用申込開始 : 10/15～
- サービス開始 : 10/17～
- 口座数 : 6,524口座
※1/24現在の口座数
- 貸株サービス残高 : 179億円
※1/24現在の口座数

国内事業 | 預り資産拡大に向けた取り組み(maneo)

新しい資産運用のカタチとして注目を集めるサービスに、
お客様の期待高く、サービス開始までに1,332口座



将来への投資として海外事業を推進

GMOインターネットグループの世界展開ブランド“Z.com”を活用

ロンドン

2015年3月にFX/CFDサービス開始
展示会に出展し、ロシア語圏からの集客も開始
規模は小さいものの着実に口座数、収益は伸長

香港
バンコク

2012年8月より香港でFXサービス開始
その後、CFDサービスも開始
現在は主にマーケティング拠点として活動
中国をメインターゲットに英国に送客

2016年11月にタイ王国に子会社設立
証券業ライセンス取得に向けて準備を推進
来年度の開業を目指す

Z.com

※タイ王国における事業の開始は、タイ王国における証券業ライセンスの取得が前提

各国の人気サッカー選手を起用し、マーケティングを展開

Z.com

最も短くて覚えやすい1文字ドメイン

**KICK OFF YOUR WEBSITE
GET YOUR DOMAIN**

日本代表
香川真司選手



ベトナム代表
グエン コン フォン選手



ミャンマー代表
チョー・コー・コー選手



タイ代表
チャナティプ・ソングラシン選手

新ネット銀行への出資

- あおぞら銀行グループとGMOインターネットグループで、新ネット銀行開業に向けて準備中(2017年度中の開業予定)
- 当社グループは、銀証連携サービスによる顧客満足度向上や新ネット銀行からの新規顧客流入等を期待

 あおぞら銀行 

 あおぞら信託銀行 



GMO Walletへの出資

- GMOインターネットグループはGMO Walletを準備会社として仮想通貨の交換および取引事業へ参入
- 当社もGMO Walletへ35%出資



基本方針：株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うこと

目標

連結配当性向

50% (年4回配当)

1株当たり 配当金	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2017年 3月期	9.70円	6.15円	6.68円	—	—
2016年 3月期	6.38円	5.60円	5.34円	5.00円	22.32円

優待の内容

GMOクリック証券 における

1. 売買手数料相当額最大15,000円キャッシュバック
2. GMOクリックHD株式買付手数料相当額キャッシュバック

優待基準日

2016年6月末日、2016年12月末日

株主優待の詳細は当社ホームページにてご確認ください。
<https://www.gmo-click.com/ir/stock/benefit.html>

- 技術力を強みにシステムを内製化。安くて使いやすいサービスで成長
- FX取引高は5年間ずっとと世界No.1
- 株式は大手ネット証券の一角。今後さらに伸ばす
- 主力のFXを更に強化し既存/新規事業へ投資、持続的成長図る
- 連結配当性向の目標は50%（年4回配当）

Appendix

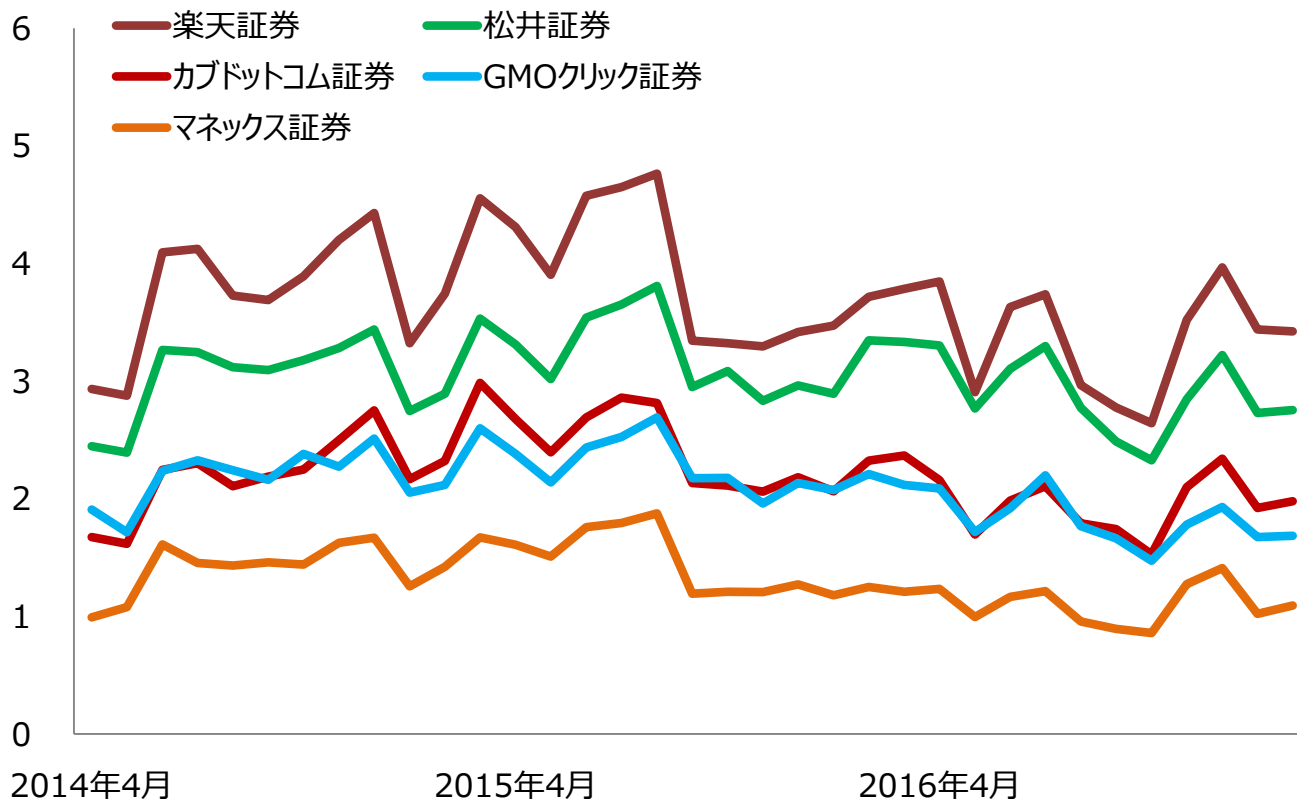
会社概要

会社名	GMOクリックホールディングス株式会社 (GMO CLICK Holdings, Inc.)
所在地	東京都渋谷区桜丘町20番1号
代表者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事業内容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理ならびにこれに 附帯する業務
設立	2012年1月
資本金	499百万円 (2016年12月末日現在)
連結子会社	GMOクリック証券株式会社 株式会社FXプライムbyGMO GMO-Z.com Forex HK Limited (香港) GMO-Z.com Bullion HK Limited (香港) GMO-Z.com Trade UK Limited (英国) GMO-Z.com Trade (Thailand) Limited (タイ王国)
連結従業員数	249名 (2016年12月末日現在)

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード	7177
上場日	2015年4月1日
事業年度	4月1日～翌3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL：0120-232-711（東京） / 0120-094-777（大阪） 受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00
公告方法	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。
	電子公告 公告URL https://www.gmo-click.com/ ※ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

主要ネット証券比較 | 株式売買代金

(兆円)

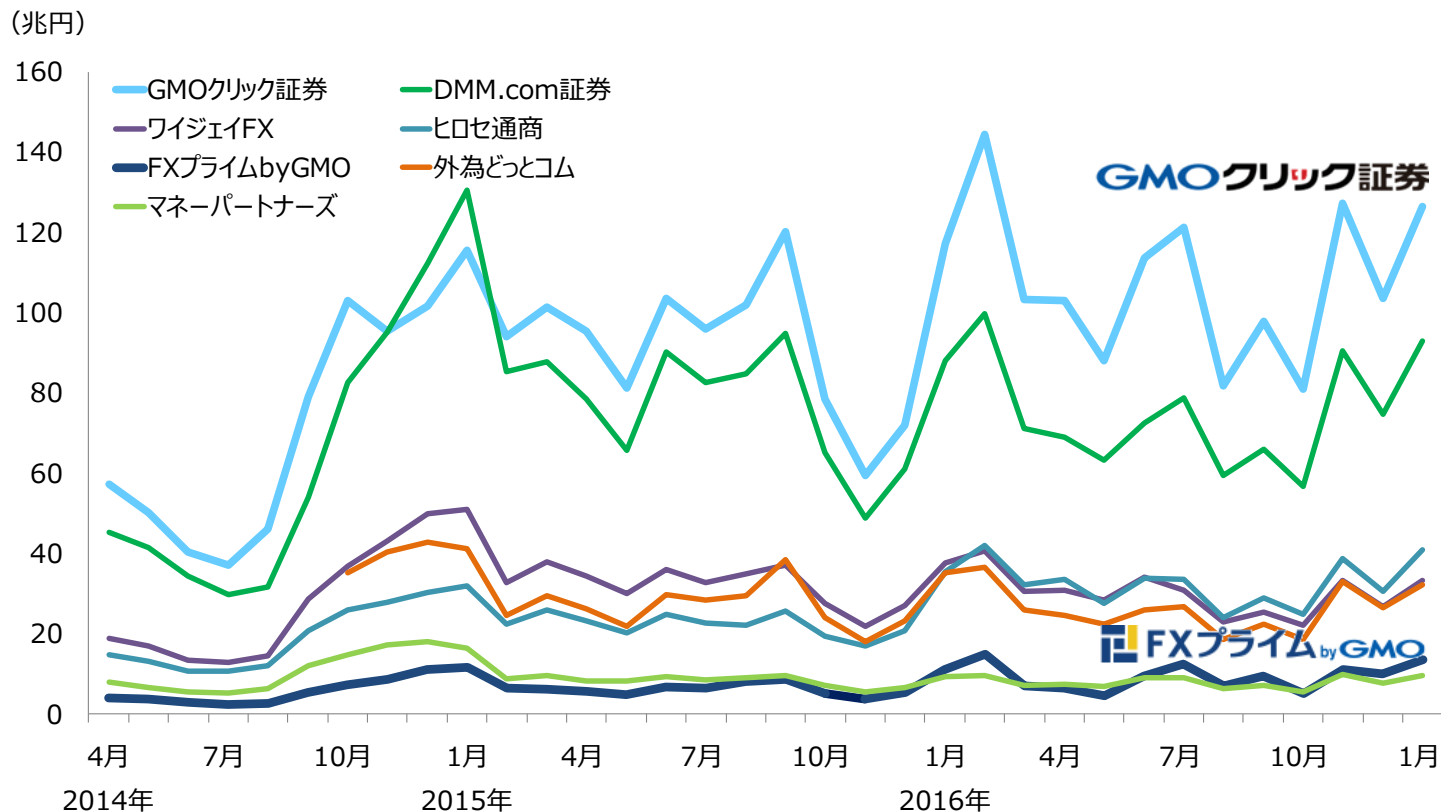


株式売買代金
4～5位で推移

GMOクリック証券

出所：各社公表資料より当社作成
※SBI証券は2016年6月以降の数値非開示のため、グラフからは除外

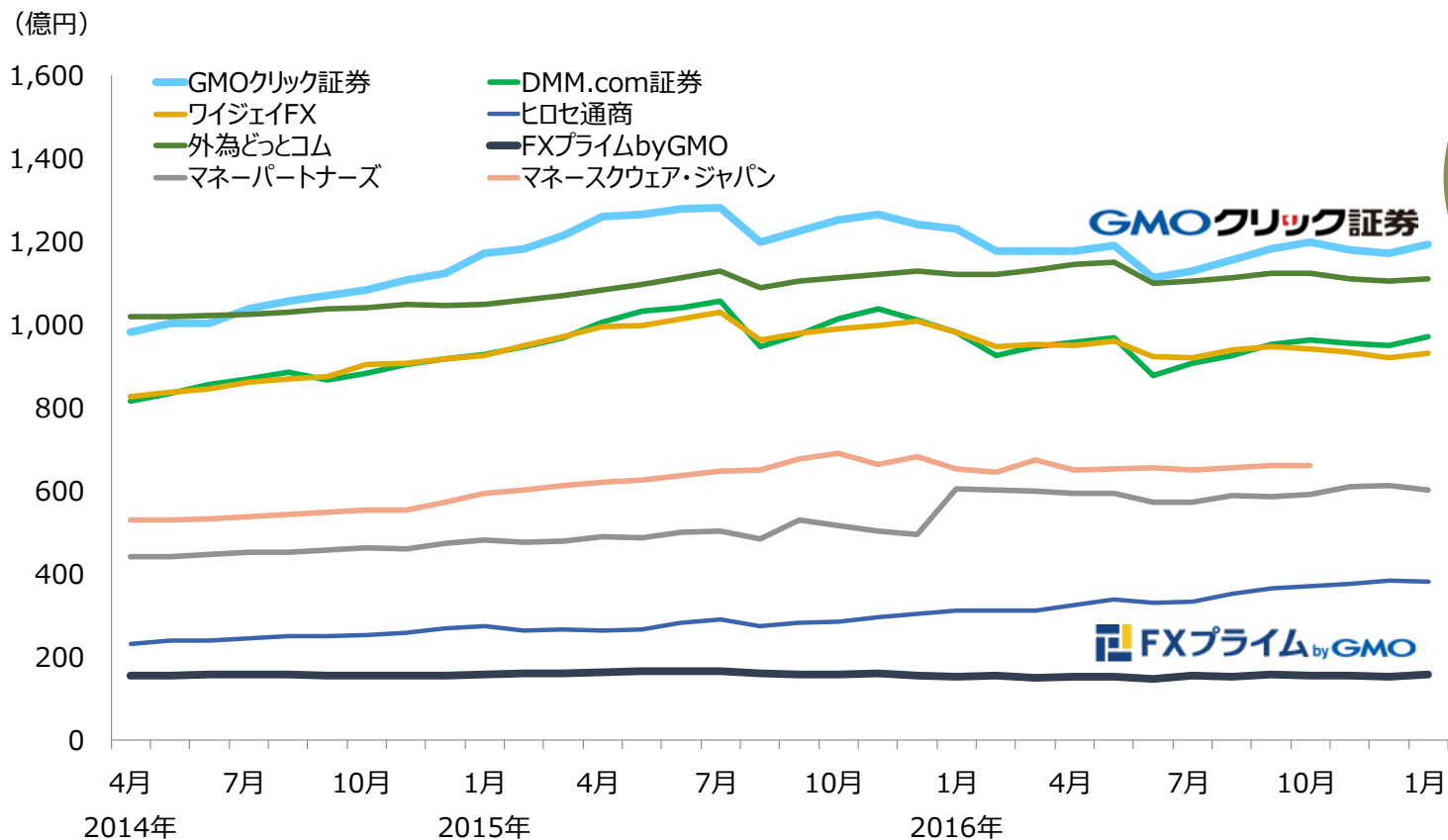
国内FX会社比較 | 取引高



FX取引高
第**1**位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2017年1月）より当社作成
※百万通貨は1 億円として換算

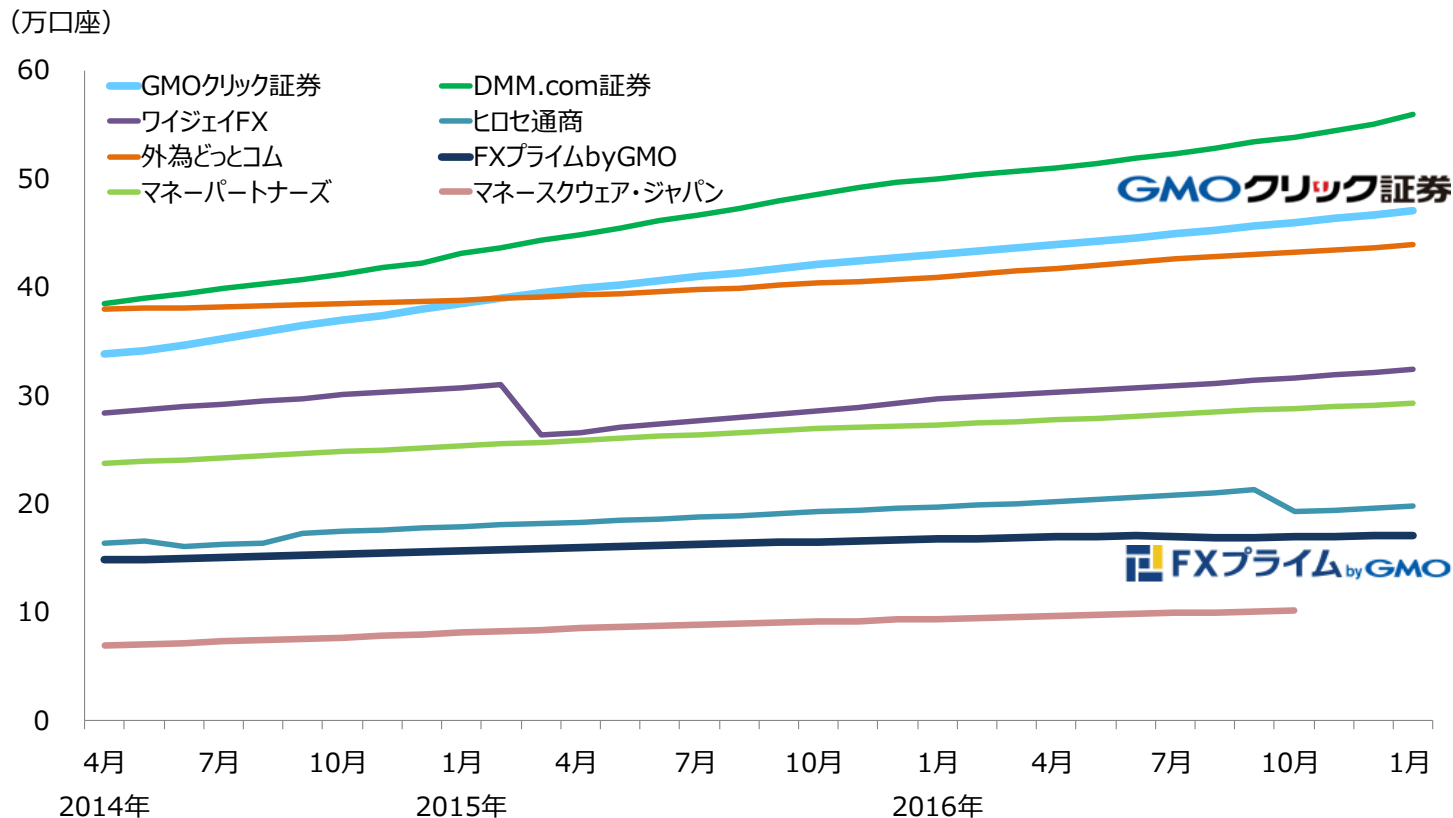
国内FX会社比較 | 預り証拠金残高



預り証拠金
残高
第**1**位

出所：矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング（2014年4月～2017年1月）より当社作成

国内FX会社比較 | 口座数



口座数
64.1万
口座

2017年1月末
グループ合計口座数

免責事項

本資料には、将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。